

(8) 中国



中国地域では、景気は改善の動きに足踏みがみられる。

- ・ 鉱工業生産はこのところ減少している。
- ・ 個人消費はやや弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、このところ持ち直しの動きが強まっている。

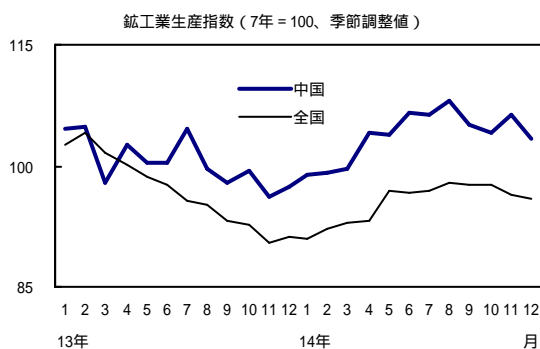
前回調査からの主要変更点

| | 前回（平成14年11月） | 今回（平成15年2月） | |
|-------|----------------|----------------|--|
| 総括表現 | 緩やかな改善の動きがみられる | 改善の動きに足踏みがみられる | |
| 鉱工業生産 | 増加傾向 | このところ減少 | |
| 住宅建設 | おおむね横ばい | 減少 | |

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はこのところ減少している。

化学は、アジア向け輸出は高水準で推移しているものの、国内需要の低迷から減少している。一般機械は、一般用ボイラーや印刷機械などが増加した。鉄鋼は、輸出向けや自動車向け需要が強くなり、依然フル操業を続けており、おおむね横ばいである。電気機械は、携帯電話関連が国内、海外ともに需要が堅調であり、横ばいとなっている。自動車は、新型車効果に薄れがみられるなど、好調であった北米向けの輸出にこのところ一服感がみられる。



(備考) 平成14年12月の中国お速報値。

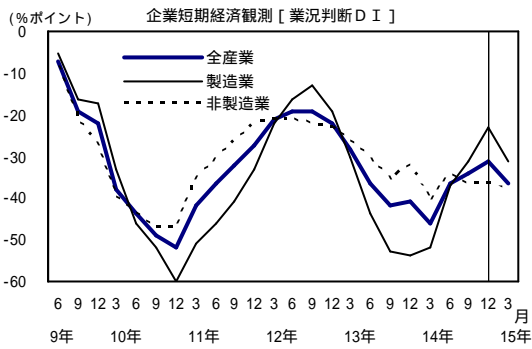
域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

| | 付加価値 ウェイト | 生産 | | 出荷 | 在庫 |
|------|--------------|-----------|-------------|-------------|-------------|
| | | 7~9 月期 | 10~12 月期 | 10~12 月期 | 10~12 月期 |
| 化学 | 16.5 | 2.3 | 2.7 | 3.4 | 2.4 |
| 一般機械 | 11.5 | 0.1 | 3.5 | 2.1 | 1.3 |
| 鉄鋼 | 11.4 | 2.5 | 0.8 | 3.1 | 1.1 |
| 電気機械 | 10.3 | 5.3 | 0.0 | 0.9 | 14.7 |
| 自動車 | 9.8 | 12.0 | 5.5 | 1.8 | 0.6 |
| 鉱工業 | 100.0 | 1.7 | 1.9 | 2.6 | 3.9 |

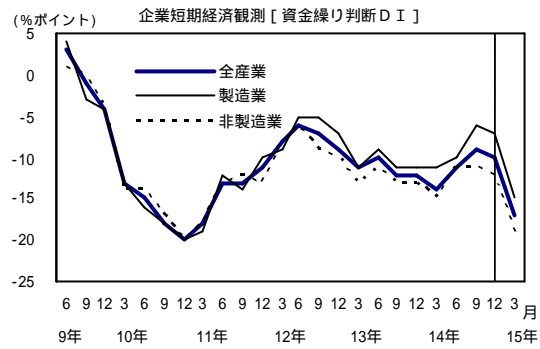
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 10~12月期は速報値。

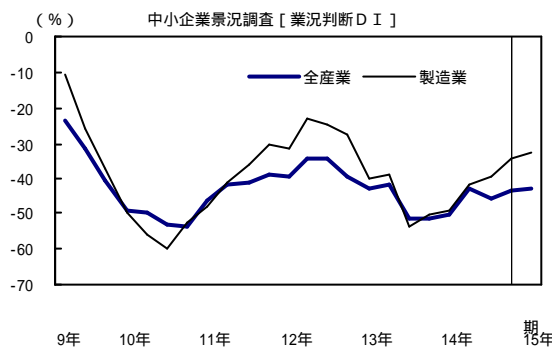
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「苦しい」超幅が横ばいとなっている。
 企業短期経済観測調査 [業況判断D I、資金繰り判断D I] 及び中小企業景況調査 [業況判断D I]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。15年3月は予測



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。15年3月は予測



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。15年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (1月調査) [企業動向関連 (現状判断)]

「国内については、依然自動車販売が堅調な推移を示しており、また至近でもアジア向けの高い要望に支えられて、粗鋼生産はほぼフル操業を継続している (鉄鋼業)」など、「変わらない」とする回答が多みられた。

(3) 設備投資の14年度計画は前年度実績を下回っている。

非製造業では、電力・ガスの増加により、前年度実績を上回っている。

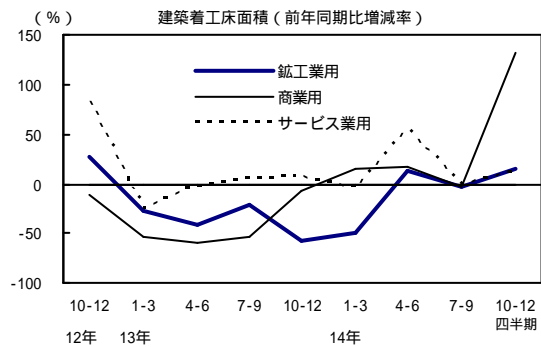
企業短期経済観測調査 [設備投資 (12月調査)]

(前年度比増減率、単位：%)

| | 13年度実績 | 14年度計画 |
|------|--------|-----------|
| 全産業 | 13.9 | 2.8(2.3) |
| 製造業 | 12.9 | 8.6(1.2) |
| 非製造業 | 14.9 | 2.7(3.3) |

(備考) ソフトウェアを含む設備投資。

()は前回 (9月) 調査修正率。



2. 需要の動向

(1) 個人消費はやや弱含んでいる。

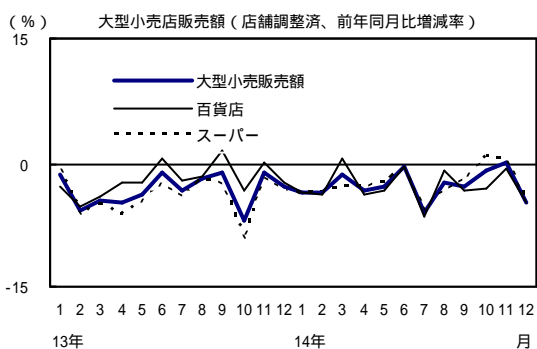
大型小売店販売額及び乗用車新規登録・届出台数

百貨店は、11月に気温が低めに推移したこと等から冬物衣料品に、歳暮ギフトの前倒しにより食料品に、それぞれ動きがみられたが、歳末商戦は低調であった。10～12月期を通じてみると主力商品である衣料品は伸び悩みを続け、前年を下回って推移している。

スーパーでも、11月の気候要因により冬物衣料品や食料品に動きがみられたものの、歳末商戦は低調であった。10～12月期を通じてみると主力の飲食料品は伸び悩みを続け、他品目にも目立った動きがみられなかったことなどから、前年を下回って推移している。

景気ウォッチャー調査(1月調査)[家計動向関連DI(現状判断)]

「宴会時における客のドリンクの追加が減少している(観光型ホテル)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

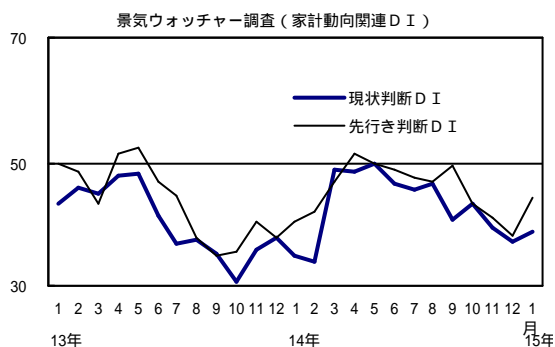
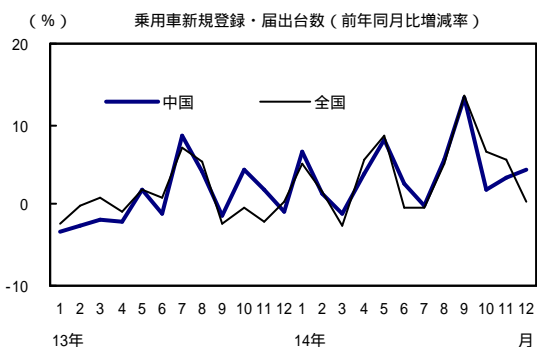


(前年同期比増減率、単位：%)

| | 14年1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 |
|----------|---------|------|------|--------|
| 大型小売店 | 3.0 | 2.1 | 3.9 | 2.2 |
| 百貨店 | 2.2 | 2.6 | 4.0 | 3.1 |
| スーパー | 3.4 | 1.8 | 3.8 | 1.6 |
| 乗用車 | 1.3 | 4.8 | 6.3 | 3.3 |
| 景気ウォッチャー | 39.2 | 48.4 | 44.3 | 39.8 |

(備考) 1. 大型小売店販売額は店舗調整済。

2. 景気ウォッチャー調査の数値は家計動向関連の現状判断DIの3か月単純平均。



(2) 住宅建設は減少している。

分譲を中心に前年を下回っており、減少している。

(3) 公共投資は年度累計でみると前年を下回っている。

